

# 香取市地域公共交通協議会

## (第 15 回協議会資料)

### 目 次

<b>議事 1</b>	香取市地域公共交通協議会規約の改正について（協議）	1
<b>議事 2</b>	デマンド交通試験運行の継続について（協議）	
	1) 利用登録者へのアンケート調査について	3
	2) 試験運行の継続について	13
<b>議事 3</b>	地域内フィードバックシステム確保維持計画の策定について（協議）	15
<b>議事 4</b>	バス乗降調査及びインタビュー調査・アンケート調査について（報告）	
	1) 平成 26 年度バス乗降調査及び利用者インタビュー調査	21
	2) 平成 25 年度バス乗降調査及び乗務員アンケート調査	21

## 議事 1 香取市地域公共交通協議会規約の改正について（協議）

香取市地域公共交通協議会規約の改正について、下記のとおり協議する。（理由：タクシー事業者関係者のコンセンサス形成の重要性に鑑み、千葉県タクシー協会推薦の委員を委員として委嘱することになったため。併せて組織変更等による字句の修正を行う。）

### 別表（第4条関係）

委 員	
関係運輸支局長又はその指名する職員	関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官（企画調整）
千葉県公共交通担当職員	千葉県総合企画部交通計画課 企画調整班長
乗合バス等関係事業者又は関係団体の代表者	<del>一般</del> 社団法人千葉県バス協会 専務理事
	<del>一般社団法人千葉県タクシー協会 専務理事</del>
	北総自動車株式会社 代表取締役
	株式会社千葉交タクシー 常務取締役
	千葉交通株式会社 常務取締役
	関鉄観光バス株式会社 代表取締役
	ジェイアールバス関東株式会社 八日市場支店長 東日本旅客鉄道株式会社 佐原駅長
乗合バス等関係事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表者	千葉交通労働組合 書記長
道路管理者	千葉県香取土木事務所 所長
関係警察署員	香取警察署 交通課長
地域住民を代表する者	佐原地区市民代表
	小見川地区市民代表
	山田地区市民代表
	栗源地区市民代表
地域福祉推進に携わる者	社会福祉法人香取市社会福祉協議会 事務局長
市長が必要と認める者	福田線バス路線をまもる会 会長
	香取市高齢者クラブ連合会 会長
副市長	香取市副市長

関係職員	
香取市	総務 <del>企画</del> 部 部長
	<del>企画財政部 部長</del>
	市民福祉部 部長
	経済環境部 部長
	建設水道部 部長
	教育部 部長
	小見川支所 支所長
	山田支所 支所長 栗源支所 支所長

協議会規約別表（第4条関係）に係る委員名簿

参考

委 員		
選出区分	所属、職名等	氏名
関係運輸支局長 又はその指名する職員	関東運輸局千葉運輸支局首席運輸企画専門官（企画調整）	泰間 隆
千葉県公共交通担当職員	千葉県総合企画部交通計画課企画調整班長	伊藤 昌央
乗合バス等関係事業者又は関係団体の代表者	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事	花崎 幸一
	一般社団法人千葉県タクシー協会 専務理事	土屋 信乃夫
	北総自動車株式会社 代表取締役	高橋 實
	株式会社千葉交タクシー 常務取締役	藤田 信一
	千葉交通株式会社 常務取締役	鶴澤 尚夫
	関鉄観光バス株式会社 代表取締役	橋本 定廣
	ジェイアールバス関東株式会社 八日市場支店長	角谷 真司
乗合バス等関係事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表者	東日本旅客鉄道株式会社 佐原駅長	田谷 志郎
	千葉交通労働組合 書記長	飯田 謙二
道路管理者	千葉県香取土木事務所 所長	岩船 保
関係警察署員	香取警察署 交通課長	山口 周一
地域住民を代表する者	佐原地区市民代表	松川 忠史
	小見川地区市民代表	八角 和爾
	山田地区市民代表	林 浩美
	栗源地区市民代表	本宮 敏雄
地域福祉推進に携わる者	社会福祉法人香取市社会福祉協議会 事務局長	石川 一美
市長が必要と認める者	福田線バス路線をまもる会 会長	石川 義行
	香取市高齢者クラブ連合会 会長	鈴木 喜満
副市長	香取市副市長	軸丸 真二

関係職員		
香取市	香取市総務企画部 部長	吉田 玄
	香取市市民福祉部 部長	篠塚 寿
	香取市経済環境部 部長	澁谷 武男
	香取市建設水道部 部長	大堀 常昭
	香取市教育部 部長	林 高志
	香取市小見川支所 支所長	伊藤 雅啓
	香取市山田支所 支所長	石毛 義則
	香取市栗源支所 支所長	平野 安敏

【事務局】

香取市総務企画部企画政策課	課長	伊藤 勝弘
香取市総務企画部企画政策課企画調整班	班長	本宮 茂幸
香取市総務企画部企画政策課企画調整班	主査	石毛 貴光
香取市総務企画部企画政策課政策班	主任主事	上野 太一郎

## 議事2 デマンド交通試験運行の継続について（協議）

### 1) 利用登録者へのアンケート調査について

乗合タクシーの試験運行を開始して半年が経過したことから、利用状況や改善要望等を把握し、改善案の検討や今後の本格運行への移行の可否決定の基礎資料とするため、「小見川乗合タクシー試験運行に関するアンケート調査」を実施した。

#### (1) アンケート調査の実施概要

##### ○調査日時

平成26年5月16日（金） 配布  
平成26年5月26日（月） 回答〆切

##### ○調査目的

香取市が試験運行を実施している小見川乗合タクシーについて、利用者の利用状況や改善要望等を把握し、試験運行期間中における改善案の検討や今後の本格運行への移行の可否決定の基礎資料とする。

##### ○調査対象

平成26年4月1日現在の乗合タクシー利用登録者（349世帯 522名）  
※4月末日時点での住民記録を反映。

##### ○調査方法

個人毎のアンケート票を作成し、世帯毎に封筒へ封入して郵送する。回収は、同封する料金受取人払いの封筒で返送するよう求める。回答を容易にするため、回答者の属性は利用者登録の情報を利用しあらかじめアンケート票に印字する。（個人を特定しない形で統計処理する旨は明記）

##### ○アンケートの内容

別紙アンケート調査票のとおり

#### (2) アンケート調査の結果

##### ①回収状況

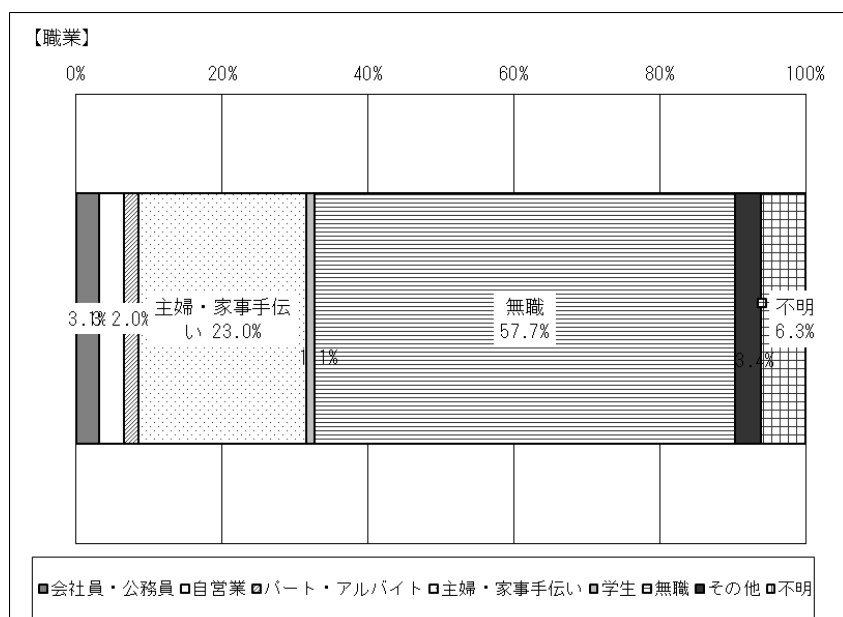
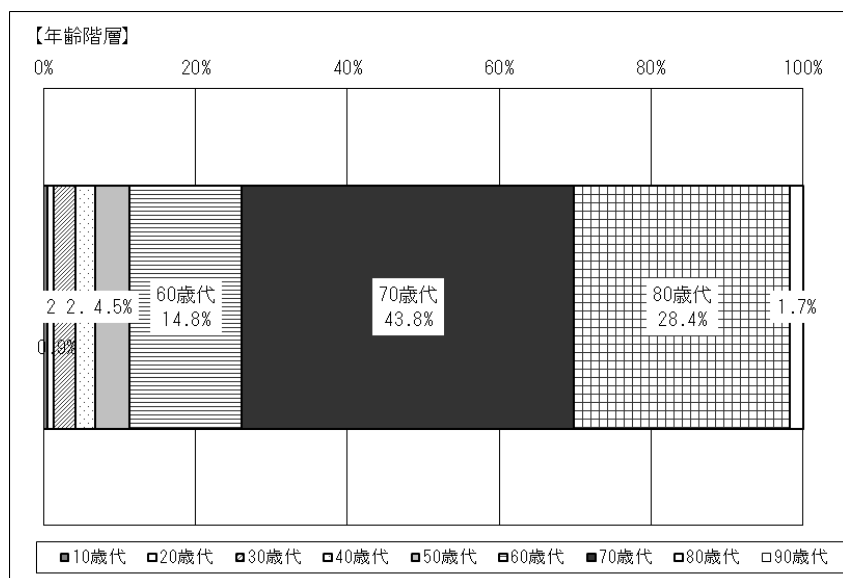
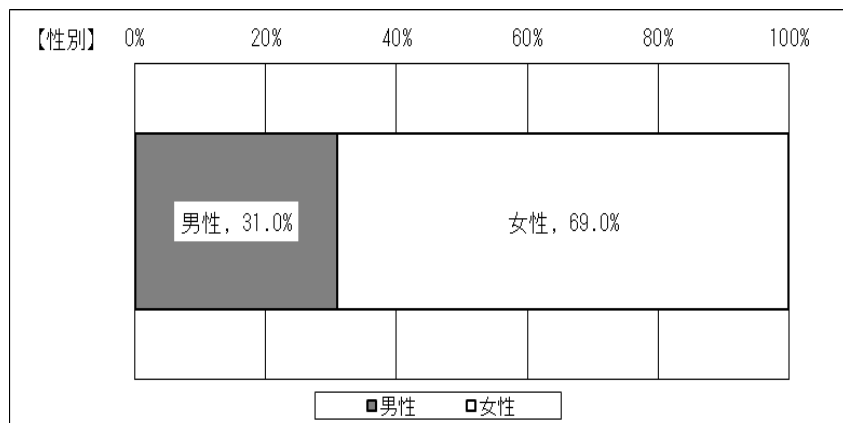
**回収率**は、67.4%と非常に高い回収率となっている。調査対象者が自ら登録した利用登録者であり、あらかじめ個人別調査票を作成して配布した調査としても、高い関心がうかがわれる。

##### ■ 乗合タクシー利用登録者アンケート回収状況

配布数	回収数	回収率
票	票	票
522	352	67.4%

## ②回答者の属性

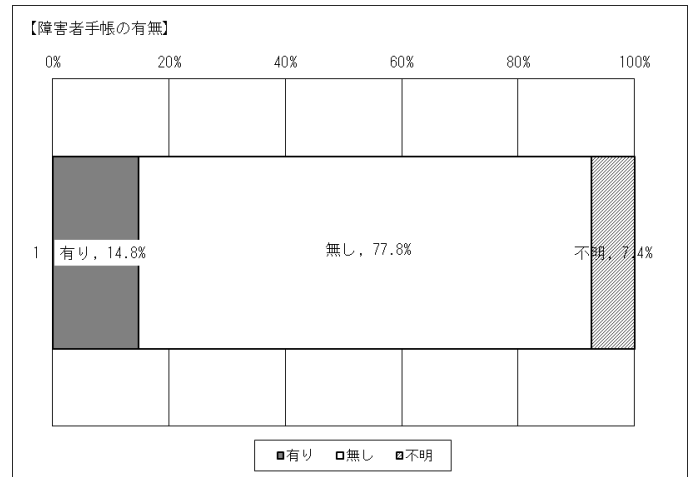
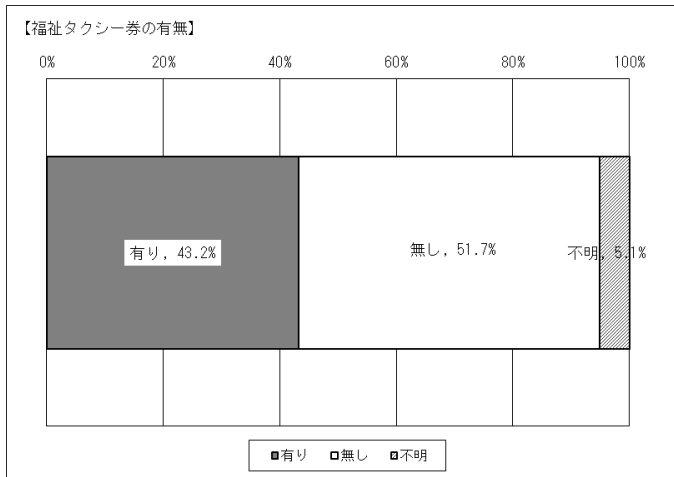
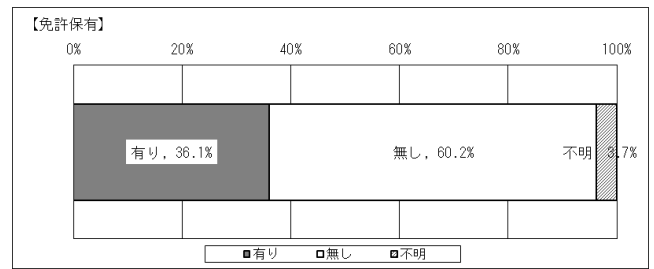
**性別構成比**は、女性が69%を占めており、**年齢階層**は、70歳代(43.8%)、80歳代(28.4%)、60歳代(14.8%)の順で、70歳以上の割合が72%以上を占めている。これらは利用登録者の比率とほぼ同率である。**住所別**では、中央地区が67%を占めており、利用登録者の比率より若干高い。また、**職業構成比**は、無職(57.7%)が最も多く、次ぐ主婦・家事手伝い(23.0%)とあわせ、80%以上を占めている。



【住所】

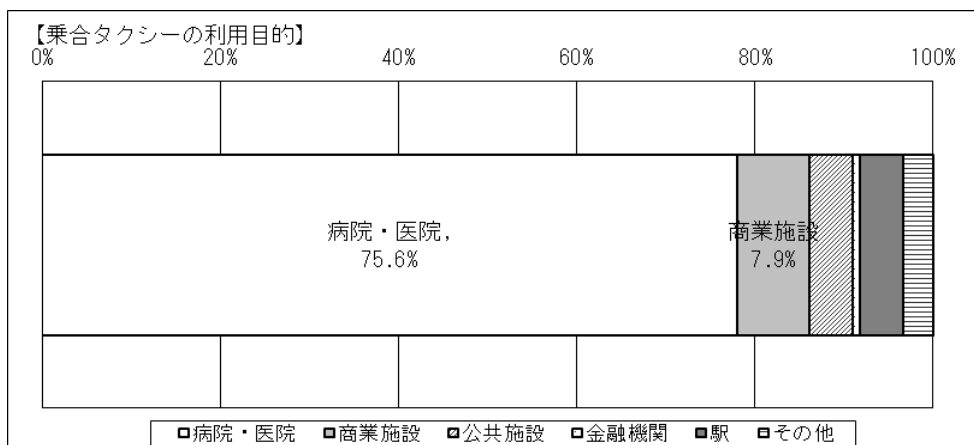
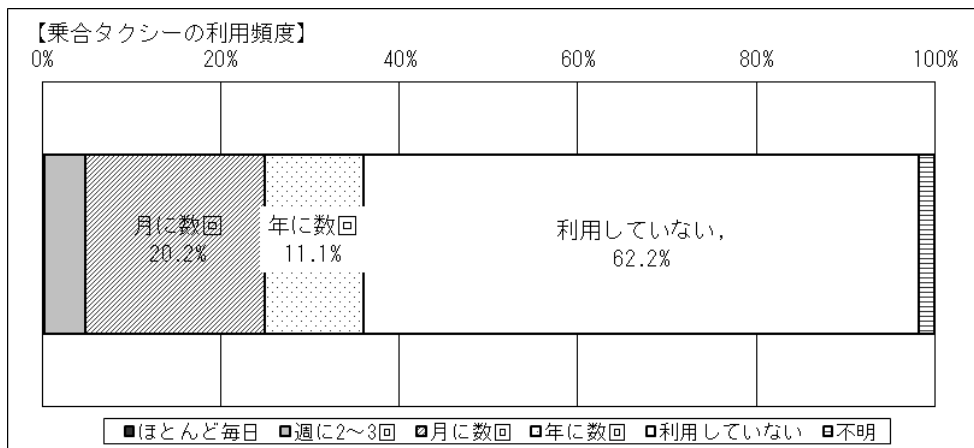
地区	住所	件数	割合
中央	小見川	118	33.5%
	八日市場	17	4.8%
	野田	30	8.5%
	本郷	9	2.6%
	下小川	7	2.0%
	南原地新田	4	1.1%
	羽根川	3	0.9%
	新々田	7	2.0%
	入会地	41	11.6%
	小計	236	67.0%
東	阿玉川	21	6.0%
	下飯田	29	8.2%
	岡飯田	8	2.3%
	布野	1	0.3%
	川頭	3	0.9%
	北原地新田	3	0.9%
		小計	65
南	五郷内	17	4.8%
	和泉	0	0%
	貝塚	22	6.3%
	阿玉台	11	3.1%
	久保	1	0.3%
		小計	51
合計		352	100%

免許の保有状況は「免許なし」が60.2%を占めている。また、市の福祉タクシー券の有無については「持っている」と答えたものが43.2%あり、障害者手帳の保有状況についても「持っている」と答えたものが14.8%と高率を占めていることから、いわゆる交通弱者の利用登録が多いことを裏付けている。

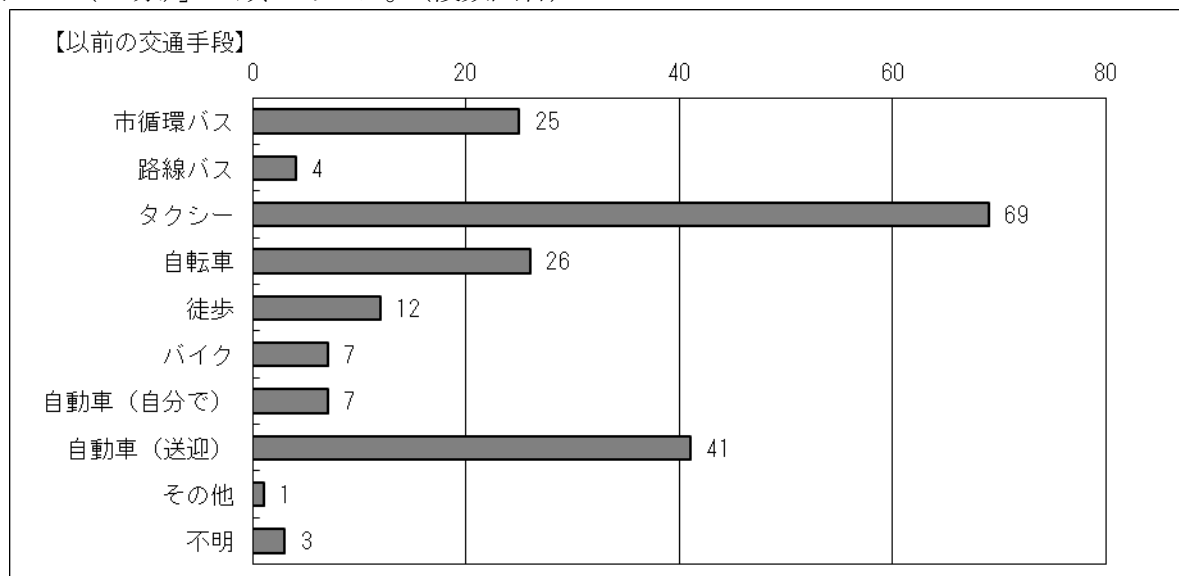


### ③乗合タクシーの利用状況

乗合タクシーの利用頻度は、「利用していない」が62.2%と多数を占め、次いで「月に数回(20.2%)」「年に数回(11.1%)」となっている。利用している者に利用目的を聞いたところ、「病院・医院」が大多数(75.6%)であるが、次いで「スーパーなど商業施設」も7.9%あった。



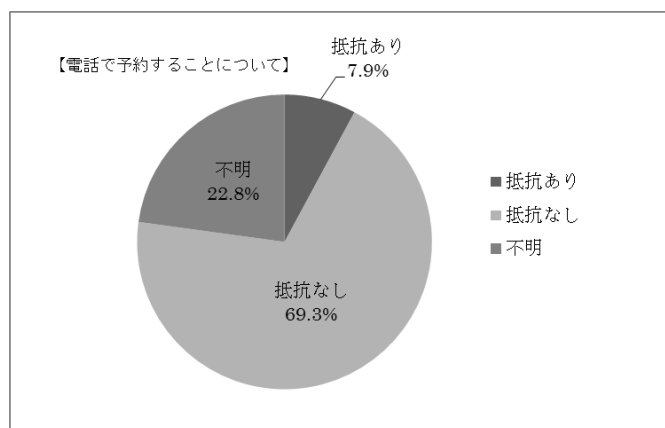
また、**乗合タクシーが運行される前の移動手段**を聞いたところ、「タクシー (69 票)」が 62.2%と最も多く、次いで「家族等による自動車での送迎 (41 票)」「自転車 (26 票)」「市循環バス (25 票)」の順であった。(複数回答)



#### ④乗合タクシーの運行内容について (利用者の意識把握)

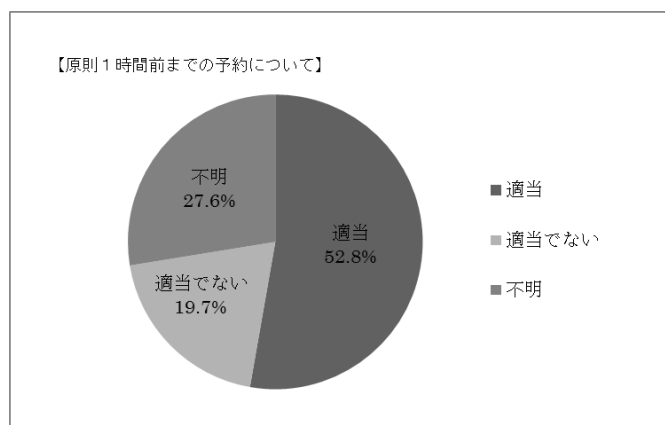
乗合タクシーは、従前の市循環バスを休止して代わりに試験的に運行を開始したものであり、実際に利用した利用者の意識を把握することは重要である。乗合タクシーを利用したことがあると回答した127名 (回答者の24.3%) に、運行の内容について聞いた。

**電話で予約することについての抵抗感**について聞いたところ、「抵抗がない」が69.3%と多数を占めた。ただし「不明 (無回答)」も22.8%あり、複雑な心境の者もあるのではないかと推測される。



また、**原則、利用する便の当日1時間前までに予約が必要なこと**についても聞いたところ、「適当 (52.8%)」が過半数を占めたものの、「適当でない (19.7%)」「不明 (無回答) (27.6%)」も少なくなかった。

「適当でない」と回答したものに自由回答で記入を求めた具体的な理由は次頁のとおりである。



設問 5-(4) 原則、利用する便の当日 1 時間前までに予約が必要なことについて  
「適当でない」と回答したものの自由記載 抜粋

**【1 時間前の短縮を求めるもの】**

- ・ 身内の者の都合で急にキャンセルの場合がある。30 分くらい前でも良い。少々待つても良い。
- ・ 30 分位
- ・ 30 分前
- ・ 1 時間前では早すぎる。急な時もある。
- ・ 市内だけのことで、1 時間も前には必要ではないと思います。
- ・ 何時何分に用事が済み、1 時間前の予約では待ち時間が長い。

**【病院の帰りの予約の難しさを言うもの】**

- ・ 病院の診療時間、終了時間がはっきりしないので電話予約しづらい。
- ・ 病院などでは診察が長引くか早く終わるかわからない
- ・ 病院へ行くときは予約を受けていますので、それに合うように予約して乗車したいです。
- ・ 治療の都合で予約が出来ない事  
1 時間前の予約となると診察後に利用することが出来にくい。

**【随時運行を求めるもの】**

- ・ 普通のタクシーの様にお願いしてすぐに来てくれるとより便利だと思います。
- ・ 朝早いと予約を忘れる。予約なしで来てほしい。
- ・ 予約の必要なし
- ・ 都合の良いとき乗りたい

**【原則、当日予約の緩和を求めるもの】**

- ・ 病院 8 時では前日忘れる
- ・ 連休があると忘れることがあるから。

**【その他】**

- ・ ちょっと不都合なときがあります
- ・ 1 時間前に予約して車が空いていると来てくれるがいつ空いているかわからない。
- ・ 時間が思うようでない
- ・ 極力事前に予約しているが、急に外出せざるを得ない時もある。
- ・ 急に用事が出来て利用したい時に少し不便である
- ・ 電話を持っていないので店でかけるのが困る。なんでも終わってからなので予約 1 時間前は困ります。



次に、**運賃の許容範囲**について聞いた。障害者手帳の有無により現在該当する運賃が違うため、障害者手帳の有無を分けて集計し、さらに利用頻度によって運賃の許容範囲に差があるが分析するため、利用頻度別に分類してクロス集計した。現在の運賃と同じ額がいずれも最多になっているが、障害者手帳保持者 30 名のうち、現行の 100 円を超える負担を許容する回答が 16 名いることが特筆される。回答不明のものを除いた障害者手帳保持者(26 名)と非保持者(77 名)のそれぞれについて、中央値となるのは障害者手帳保持者が 200 円まで、非保持者が 400 円までであった。障害者手帳を保持していない者は現行以下の運賃を求めるものが多い。(84 名中 60 名。)

■ 障害者手帳の有無×利用頻度×利用しても良い運賃 =クロス集計=

障害者手帳	利用頻度	100円まで	200円まで	300円まで	400円まで	500円まで	600円まで	700円まで	800円まで	900円以上	不明	総計
あり	ほとんど毎日	1										1
	週に2~3回	4	1		1	1						7
	月に数回	4	1	2	3	4			1	1	3	19
	年に数回	1	1								1	3
合計		10	3	2	4	5	0	0	1	1	4	30
なし	ほとんど毎日											0
	週に2~3回			1	5						1	7
	月に数回	1	1	11	18	11	1				4	47
	年に数回		2	7	14	5					2	30
合計		1	3	19	37	16	1	0	0	0	7	84
不明	ほとんど毎日											0
	週に2~3回		1			1						2
	月に数回		1	1	3							5
	年に数回			1	1	1		1			2	6
合計		0	2	2	4	2	0	1	0	0	2	13
総計		11	8	23	45	23	1	1	1	1	13	127

3 2 力所の共通乗降場所について増設の要望は、記載があったのは10件だけだった。

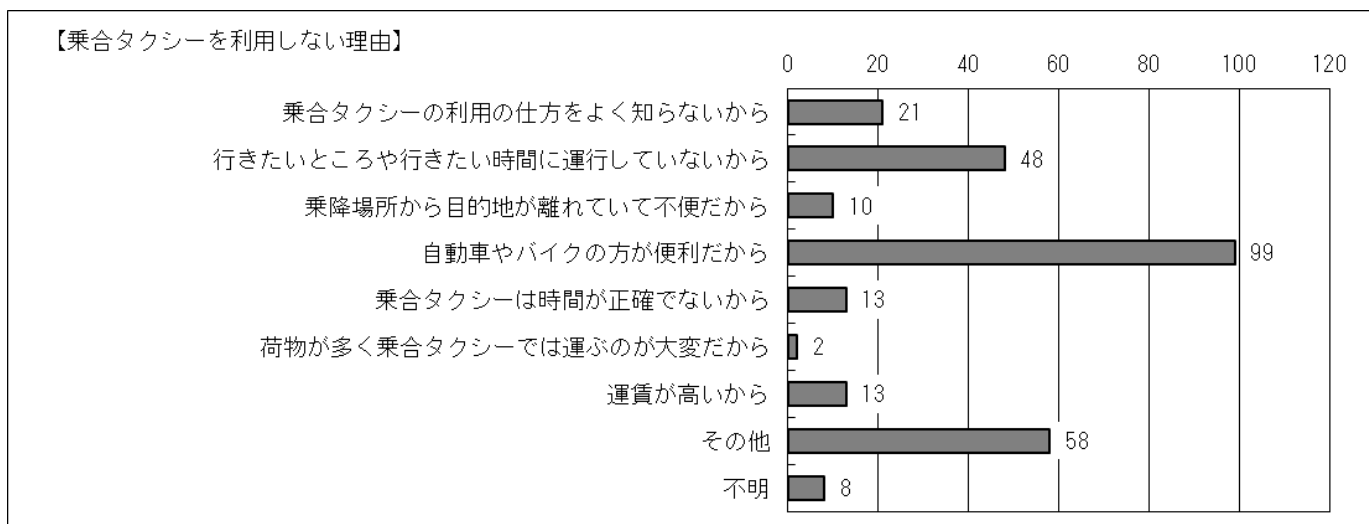
- ・ 市内走行範囲の地図が有り、その内であればどこでも止めてほしい。
- ・ 佐原の病院に行く時タクシーがあれば大変助かりますが？料金が少しあがっても仕方がないと思います。
- ・ 門の所で結構です
- ・ 佐原本庁（小見川から）
- ・ ひまわりクリニックにも送迎して欲しい。
- ・ 西宮歯科
- ・ 美容室
- ・ 歯科
- ・ ファミリーマート（2件）

## ⑤乗合タクシーを利用していない者の理由、本格運行時の利用頻度の見込み・許容運賃

乗合タクシーの利用者登録はしているが現在まで実際に利用していない者219名(62.2%)について、その理由と本格運行された場合の利用頻度の見込み、許容する運賃の範囲を聞いた。

**乗合タクシーを利用していない理由**は、「自動車・バイクの方が便利だから(99票)」が最も多く、次いで「その他(58票)」「行きたいところ、行きたい時間に運行していないから(48票)」の順となっている。現在は交通手段があるが取り敢えず利用者登録だけした者が多かったと見られるが、「行きたいところ、行きたい時間に運行していないから」については、区域運行であることと8時から17時までの運行時間であることのほかに、民間タクシーと異なる1時間毎に予約をまとめて運行する形態への不満が含まれていると思われる。

なお、「その他」については、「自転車・徒歩で済んでいる」「まだ元気だから」「使う機会がない」などの、将来に備えとりあえず登録したとの回答(約41件)が多かった。



### 設問6 乗合タクシーをご利用されない理由について

「8:その他」と回答したものの自由記載 抜粋

#### 【将来に備えとりあえず登録したもの】

(徒歩・自転車など自力で可能)

- ・今のところ一人でできるから(多数)
- ・まだ元気だから(多数)
- ・今の所、自転車に乗ることが出来るから。(多数)
- ・今の内、病院へ歩いて行っている
- ・まだ今の所徒歩が出来ていますのでもう少ししばらく自分の力で頑張っていきたいと思ひます。(とりあえず登録)

- ・利用する機会がまだないため(多数)
- ・現在のところ乗る必要がないから(多数)
- ・今の所利用してませんが、いずれ利用させていただきます。
- ・今のところ必要ないのでそのうちお願いします。
- ・そのうち動けなくなった折にお世話になりますのでよろしくお願いします。
- ・学生なので今の所必要ないので
- ・車に乗れない時も来るかと思ひ妻と共に入りました。私が運転できない時は妻が多く利用させていただきます。
- ・自分が運転できない時などに登録しておけば利用できそうだから

【乗合タクシーの仕組みそのものへの不満】

- ・ 利用するのに不便だから
- ・ 不便なことが多く利用価値がないため
- ・ タクシーに同乗する方が気詰まりな気がするから
- ・ 急に用事ができて1時間前に予約を取らなくてはならないから。
- ・ 家族の対応で何とかになっていた。病院終わりで電話しても、すぐという訳にはいかないから。
- ・ 病院に行く時、行きは予約したとしても帰りの時間が予定がつかないので、予約できないため。
- ・ 夫に付き添っていくため、相乗りの場合、相手の方にご迷惑がかかるのではないかと。病院へ行くときは利用できますが、終わる時間がわからないため。

【身体上の理由】

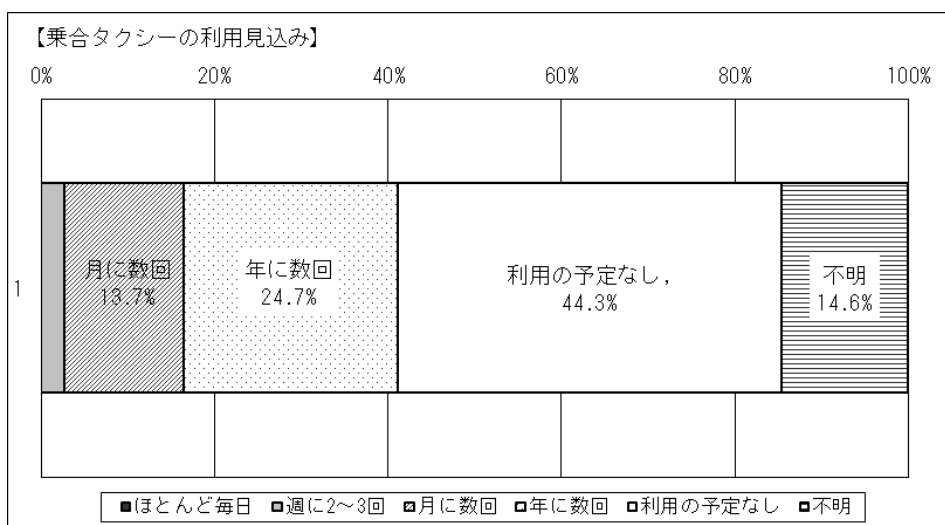
- ・ 車いす・介助が必要のため
- ・ 足が不自由で一人なので他人に迷惑になると
- ・ 相乗りの場合、乗り降り時間、足が不自由のため相手の方に迷惑がかかるため。

【その他】

- ・ 現在の治療が済むまで県立佐原病院に行かなければなりませんので福祉タクシー券を利用させていただいております。
- ・ 病院は福祉タクシーを利用する。
- ・ 病院の場合は福祉タクシーを利用させて頂いております
- ・ 現在は高齢者タクシー券の利用だけで間に合っている
- ・ 1時間前に予約したり、往復800円かかるので(病院)自転車で出掛けている。雨の日は高齢者タクシー券利用
- ・ 介護老人施設に入所しているから
- ・ 主人の車(娘の車)。時間に余裕がある時はゆっくり歩く。
- ・ 主に病院です。朝仕事に出る孫に送ってもらい、帰りは農業をしている息子の障りにならない様、昼休みに迎えに来てもらう。

など

**本格運行された場合の利用頻度の見込み(乗合タクシー未利用者)**については、「当分利用する予定はない」が44.3%と多数を占め、次いで「月に数回(24.7%)」「不明(14.6%)」となっている。将来に備え、とりあえず登録した者が多かったと見られる。



次に、**運賃の許容範囲（乗合タクシー未利用者）**について聞いた。障害者手帳の有無により現在該当する運賃が異なるため、乗合タクシーを利用したことがある者と同様に障害者手帳の有無と利用頻度別を用いてクロス集計した。回答不明のものを除いた障害者手帳保持者(17名)と非保持者(144名)のそれぞれについて、中央値となるのは障害者手帳保持者、非保持者ともに300円までであった。

■ 障害者手帳の有無×利用意向の頻度×利用しても良い運賃 =クロス集計=

障害者手帳	利用頻度	100円まで	200円まで	300円まで	400円まで	500円まで	600円まで	700円まで	800円まで	900円以上	不明	総計
あり	ほとんど毎日週に2~3回											0
		1										1
	月に数回	1	1	2		1					1	6
	年に数回	2		2		1						5
	予定なし		2	2	1	1					1	7
	不明										1	1
合計		4	3	6	1	3	0	0	0	0	3	20
なし	ほとんど毎日週に2~3回											0
		1		3		1						5
	月に数回		3	6	4	6		1			1	21
	年に数回	1	2	20	10	7			2		6	48
	予定なし	4	13	18	18	13		2		1	15	84
	不明			2	3	3					22	30
合計		6	18	49	35	30	0	3	2	1	44	188
不明	ほとんど毎日週に2~3回											0
												0
	月に数回			1		2						3
	年に数回										1	1
	予定なし		1	3	1						1	6
	不明										1	1
合計		0	1	4	1	2	0	0	0	0	3	11
総計		10	22	59	37	35	0	3	2	1	50	219

### ⑥その他ご意見について（自由回答）

利用したことがある者と利用したことがない者の共通の設問として、**自由回答で意見**を求めた。賛否両面から様々な意見が見られた。

#### 【肯定的なもの】

- ・いつもお世話になっております。まだ今の所徒歩が出来ていますのでもう少し自分の力で頑張っていきたいと思えます。また、お世話になる時がきましたらその時は宜しく願います。
- ・今は自転車に乗れるからタクシーを利用しない。でも歩けなくなった時、非常に有難いと思っています。
- ・今のところ自転車と歩きで間に合っていますが、真夏、ケガをしたとき、大荷物の時など、利用してみたいと思っています。
- ・私は、もし将来1人で暮らすことになったら乗合タクシーはどうしても必要になると

思います。真夏と真冬の時期は特に。

- ・ 自転車で用を足しており乗合タクシーを利用していませんでしたが、加齢とともに自転車の運転が難しくなると思われるので、その時はぜひ乗合タクシーを利用したいと思います。まだ利用者は少ないようですが、現在利用している方々のためにもぜひ存続させてください。
- ・ ただ1度だけ利用しましたら運転士さんの対応も良いし車もきれいで家の前から乗車できるしとてもよかったです。一人暮らしの方等最高だと思います。ちなみに私は家族もいますので。電話をするのが面倒なだけです。運賃は適当だと思います。
- ・ 私の個人の理由で運転できない時があり、妻が多く利用しています。とても助かっています。これからも続行されるよう願っています。
- ・ 病院だけであまり外出いたしませんでした。お手数かけ申し訳ございません。今後はお世話になるとは思いますがありがとうございます。
- ・ 佐原での治療が済みましたら乗合タクシーも利用させていただきたいと思っておりますので今後もよろしく願いいたします。

#### 【否定的なもの】

- ・ 腰が痛いので、又、多少血圧が低いためにバイクは処分しました。その為、三輪の自転車で出掛けています。店は少しやっていますけど人と一緒の車に乗るのが少しだけわがままですけど抵抗があるのです。ごめんなさい。普通のタクシー券はいただけるとうれしいです。
- ・ 1. 全く無駄な計画だと考えます。
- ・ 2. 殆ど利用できないため（身体状況、気候、天候等の理由で）
- ・ 3. 年齢や病弱な人間、家族がいない者の身になって計画してほしいです。
- ・ 4. タクシー券はよく利用させていただき大変助かっています。しかし、枚数が不足するため自費でタクシーを使っています（すべて病院での利用）
- ・ 5. 上記の理由でタクシー券を増やしてほしいものです。
- ・ まだ利用したことがないのでよくわかりませんが、体調の具合などで利用したいと思った時、都合良く出来るか心配はあります。
- ・ 乗り降りの近所に坂があったりすると足が少し不自由ですから困ります。
- ・ 時間的に利用しにくい。予約を事前にするのは面倒です。
- ・ 前の市の循環バスが良かった。

#### 【中間・その他】

- ・ 高齢者タクシー券が病院のみ使用なのでもう少し支所やさくら館でも使えるようにして頂けると嬉しいです。通院も自転車ですので毎年券が余ります。雨の日は買い物にでも使えたら助かります。独居の集いの場では何時も民生委員の方に「幅広く使えるように頼んで下さい」とお願いしているのです。よろしく申し上げます（81才）
- ・ バスもタクシー券が利用出来たらよいです。
- ・ 雨が降ってどうしても行く所があれば利用する。今は自転車利用で済ませている。駅にも近いので。
- ・ 今のところ体が動くので自転車を利用してやっております。
- ・ 加齢による視力の低下及び高血圧症による体調不良も時々発生し、マイカー運転を控える時もあり、また、妻も視力低下により現在ペーパードライバーの状態にあります。不自由時の対処として（自力運転困難時）登録申請しております。
- ・ 現行では土日祝日は運休ですが、香取市内でイベントがあるのは土日が多いと思います。朝夕の2便でも利用できると良いなと思います。
- ・ これまでは友人の車で移動していました乗合タクシーにして下さいと言われ、近いうちに友人の車には乗れなくなり、乗り合いタクシーを利用します。

## アンケート調査結果から見る課題

### ①利用登録者の利用促進

- ・ 利用登録はしたものの、まだ利用していない者が6割以上 (62.2%)  
一度は利用して頂かないと、判断もできないと思われる。

### ②福祉事業との関係と位置づけの整理

- ・ 福祉タクシー券を保有しているものが高率に存在 (43.2%)  
福祉タクシー券(年24枚配布)がなくなった時の予備と考えている者が少なくない  
福祉タクシー券利用者からは乗合タクシーの制約に不満を持つものが少なくない
- ・ 障害者手帳を保有しているものも高率に存在 (14.8%)  
乗合タクシーを利用したことがある者に限ると127名中30名 (23.6%)。  
運行実績の収入金種から推定すると、障害者の割合はさらに高い(約40%と推定)

### ③運賃の検討

- ・ 障害者手帳非保持者は、概ね現行以下の運賃を求めている
- ・ 障害者手帳保持者は、200～300円まで許容の余地がある  
概ね、現行以下の運賃を求める声が多いが、障害者手帳保持者は現行の100円を超える運賃を許容する声も少なくない。

### ④民間事業への影響の配慮

- ・ 乗合タクシー利用者の以前の交通手段で最も多かったのは「タクシー(69/195)」  
市の行う公的事业としての位置付けの再整理  
利便性の向上を求める声は少なくないが、慎重な対応が必要

## 2) 試験運行の継続について

乗合タクシーの試験運行を平成25年10月1日から1年間の予定で開始し、半年以上たったところであるが、アンケート調査結果を含む課題の整理とさらなる検討のため、試験運行を継続することが必要と思慮されるため、下記のとおり提案する。

### 【協議事項】

試験運行期間の延長：1年(平成26年10月から)状況により延長  
運行内容：従前のとおり

【メモ欄】

### 議事3 地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について（協議）

小見川循環バス西ルート及び小見川乗合タクシーについては、国の支援策である地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用してきたところだが、引き続き補助を受けるためには地域内フィーダー系統確保維持計画を、関係者が参画する協議会の承認を経て、6月30日までに提出する必要がある。

については、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第17条の規定に基づき「地域内フィーダー系統確保維持計画（案）」を作成したので協議する。

#### （参考）事業の目標（計画値）について

現計画では、H24.4月～H25.3月の小見川循環バスの運行実績に基づき、利用者17,401人（西ルート：7,470人 東南ルート：9,931人）が円滑に乗合タクシー及びルートを一部変更する循環バス西ルートへ移行することを第一の目標としており、平成26年度（H25.10月～H26.9月）はその17,400人が乗合タクシーに4,300人、循環バス西ルートに13,100人移行し、次年度以降は緩やかに増加を図るものとして目標を設定していた。

しかし、循環バス西ルートは小見川高校生の利用の割合が非常に大きいため、小見川駅を利用する小見川高校生の数、天候、部活動、テスト期間による短縮授業等の複合的な要因により大きく変動し、一般利用者は増加傾向でも高校生の利用者的大幅な減少により、年度末での目標達成が困難になっている。（計画値13,100人のところ、12,100人程度と予測）

高校生の利用者の減少に伴う全体の利用者数の減は予測不能でありやむを得ないので、次期3カ年の計画策定にあたっては、循環バス西ルートは平成26年度の達成見込みである12,100人を基礎に平成27～29年の目標を設定することとした。なお、高齢者の利用が多い乗合タクシーは概ね26年度の計画に近い実績値となっており、季節要因も少ない（高校生の場合は夏季などの長期休暇中に極端に利用が減る）と見られることから現行の計画の目標設定を維持することとした。

#### ■小見川循環バス西ルート（改正前）の過去の実績に基づく4月までの達成率

	期間	日数	利用者数（合計）
実績	H24.10～H25.9	245	17,263
実績	H24.10～H25.4	141	10,305
	<b>4月までの達成率</b>		<b>59.7%</b>

実績だと、4月までに利用者数は59.7%まで達している。

$$54.9\% \div 59.7\% = 92.0\%$$

#### ■小見川循環バス西ルート（改正後）の計画に対する4月までの達成率

	期間	日数	利用者数（合計）
計画	H25.10～H26.9	244	13,100
実績	H25.10～H26.4	140	7,196
	<b>4月までの達成率</b>		<b>54.9%</b>

計画に対し、4月までで利用者数は54.9%まで達している。

（実績だと、59.7%まで達しているべきだが、54.9%に留まっている。）

**年度末での計画に対する達成率は92%に留まる見込み** ←

※原因は高校生の利用減。一般の利用者は増加傾向。

（第14回協議会の報告時と傾向は変わっていない）

#### 平成26年度末における利用者数の見込みをもとに計画値を見直し

（H26の計画値）13,100人×（年度末の達成率見込み）92.0%

≒（年度末の利用者数見込み）12,100人

平成27年度以降は緩やかな増加を図ることとする

【乗合タクシー計画値】

平成27年度 12,300人

平成28年度 12,500人

平成29年度 12,700人



## 地域内フィーダー系統確保維持計画（生活交通ネットワーク計画）

平成26年6月●●日

（名称）香取市地域公共交通協議会

（代表者名）会長 軸丸 真二

### 0. 生活交通ネットワーク計画の名称

香取市地域内フィーダー系統確保維持計画

### 1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

平成21年2月に策定した香取市地域公共交通総合連携計画は、本市のまちづくりの指針となる「香取市総合計画」に掲げる「身近で利用しやすい公共交通体制の整備」を具体的に目指すための計画として策定したものであり、事業について効率的・効果的に実施していくため、計画期間中に優先的に取り組む事業を重点事業として位置づけ実施してきた。同計画において重点事業として実施した実証運行事業の成果を踏まえ、引き続き持続可能な運行を確保する必要があることから本計画を策定し、さらなる市内公共交通の維持・活性化を推進していく。

#### 【小見川西地区】

- ・公共交通空白地域かつ公共交通要望地区が集中していることから市内の公平性、均衡ある公共交通施策を推進するため導入した、小見川循環バスを引き続き運行することで、生活路線としての交通手段を確保し公共交通空白地域を削減、縮小する。（H21.10月～H24.3月実証運行、H24.4月～本格運行）

#### 【小見川東・南・中央地区】

- ・人口の減少、人口密度の低下や高齢者の増加といった社会の変化は進行しており、集落が分散している地区や道が狭隘な地区が多い本市では、従来の大型車による路線定期運行のバスでは対応が困難になってきている。そこで、デマンド交通の有用性や持続可能性を検証、また、今後の公共交通体系全般についての検討につなげるため、小見川循環バス東南ルートを休止し、当該ルートの地域において乗合タクシーの試験運行を実施する。有用性や持続可能性の検証後は速やかに本格運行へ移行し、公共交通空白地域の削減、縮小を促進する。（H25.10月～H27.9月実証運行、H27.10月～本格運行）

### 2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

#### （1）事業の目標

**現行**の小見川循環バス利用者の円滑な乗合タクシーへの移行を基本に、さらなる利用者数の増加を目標とする。

#### 【小見川西地区】

小見川循環バス西ルートを引き続き運行する一方、H25.10月から一部ルートを変更し、東南ルートの休止により困難となる高校生を主とした利用者の輸送に対応する。目標値はその要因を加味した上で段階的に利用者増を図る値を設定する。

小見川循環バス（西ルート）年間利用者数

~~平成26年度 13,100人 (H25.10月～H26.9月)~~  
 平成27年度 ~~13,300~~ 12,300人 (H26.10月～H27.9月)  
 平成28年度 ~~13,500~~ 12,500人 (H27.10月～H28.9月)  
 平成29年度 12,700人 (H28.10月～H29.9月)

【小見川東・南・中央地区】

引き続き運行する小見川循環バス西ルートで対応する高校生を主とする利用者を除き、当該地区の現行循環バス利用者の円滑な乗合タクシーへの移行を図るとともに、交通不便地域への面的な対応とドア・ツウ・ドアによる利便性向上により段階的な利用者増を図る。

小見川乗合タクシー年間利用者数

~~平成26年度 4,300人 (H25.10月～H26.9月) [試験運行]~~  
 平成27年度 4,400人 (H26.10月～H27.9月) [試験運行]  
 平成28年度 4,500人 (H27.10月～H28.9月) [本格運行]  
 平成29年度 4,600人 (H28.10月～H29.9月) [本格運行]

~~(参考) 小見川循環バスの運行実績 (H24.4月～H25.3月)~~  
~~西ルート：7,470人 東南ルート：9,931人 計：17,401人~~

(2) 事業の効果

コミュニティバス及び乗合タクシーの運行を維持することにより、小見川に存在する交通不便地域の一部（対象人口 約6,900人 ※平成26年4月1日時点 住民基本台帳）が解消され、高齢者等の日常生活に必要な移動手段が確保される。また、交通結節点である小見川駅と結び、鉄道等との効果的な連携を推進することで、地域間の活発な交流を促進し地域の活性化に寄与する。

3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者

別添「表1」のとおり

4. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

別添「表2」のとおり

5. 別表4の補助事業の基準二に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要

該当なし

6. 別表4の補助事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」認めた市町村の一覧

該当なし

7. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

別添「表5」及び「交通不便地域指定申請書」のとおり

8. 車両の取得に係る目的・必要性

該当なし	
9. 車両の取得に係る定量的な目標・効果	
(1) 事業の目標	
該当なし	
(2) 事業の効果	
該当なし	
10. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の総額、負担者及びその負担額	
該当なし	
11. 協議会の開催状況と主な議論	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年7月27日(第8回) 地域公共交通活性化・再生総合事業の後継である地域公共交通確保維持改善事業費補助金の活用を今後検討していく旨を説明</li> <li>・平成24年1月23日(第9回) 対象運転系統・計画策定スケジュール等の説明</li> <li>・平成24年6月19日(第10回) 計画策定の審議・合意</li> <li>・平成25年1月22日(第11回) 新しい運行形態(デマンド交通)の一部導入による見直し案を説明</li> <li>・平成25年3月21日(第12回) 新しい運行形態(デマンド交通)の一部導入による見直しについて審議・合意 平成25年度事業に関する事業評価について審議・承認</li> <li>・平成25年6月26日(第13回) 平成26年度計画の審議・合意</li> <li>・平成26年3月17日(第14回) 事業の実施状況について報告</li> <li>・平成26年6月18日(第15回) 平成27年度計画の審議・合意</li> </ul>	
12. 利用者等の意見の反映	
協議会の構成員には、市民、利用者主体組織の福田線バス路線をまもる会、社会福祉協議会、高齢者クラブ連合会の代表者が参画している。	
13. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	千葉県総合企画部交通計画課 企画調整班長 伊藤 昌央
関係市区町村	香取市副市長 軸丸 真二
交通事業者・交通施設管理者等	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事 花崎 幸一 一般社団法人千葉県タクシー協会 専務理事 土屋 信乃夫 北総自動車株式会社 代表取締役 高橋 實 株式会社千葉交タクシー 常務取締役 藤田 信一

	千葉交通株式会社 常務取締役 鶴澤 尚夫 関鉄観光バス株式会社 代表取締役 橋本 定廣 ジェイアールバス関東株式会社 八日市場支店長 角谷 真司 東日本旅客鉄道株式会社 佐原駅 駅長 田谷 志郎 千葉県香取土木事務所 所長 岩船 保 千葉県香取警察署 交通課長 山口 周一
地方運輸局	国土交通省関東運輸局千葉運輸支局首席運輸企画専門官 泰間 隆
その他協議会が必要と認める者	千葉交通労働組合 書記長 飯田 謙二 福田線バス路線をまもる会 会長 石川 義行 香取市社会福祉協議会 事務局長 石川 一美 香取市高齢者クラブ連合会 会長 鈴木 喜満 市民代表 (佐原区) 松川 忠史 市民代表 (小見川区) 八角 和爾 市民代表 (山田区) 林 浩美 市民代表 (栗源区) 本宮 敏雄
(平成 26 年 6 月 18 日現在)	

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 千葉県香取市佐原口 2 1 2 7  
 (所 属) 香取市総務企画部企画政策課  
 (氏 名) 石毛 貴光  
 (電 話) 0478-50-1206  
 (e-mail) kikaku@city.katori.lg.jp

【メモ欄】

## 議事4 バス乗降調査及びインタビュー調査・アンケート調査について（報告）

### 1) 平成26年度乗降調査及び利用者インタビュー調査

〔施策2〕 市内交通サービスの格差是正 〔事業〕(1) ニーズ調査及び現況把握

バス路線に対する要望・意向の把握のため、継続調査として実施している。

乗降調査は継続して行うことで過去からの変動や今後の見込み等を把握できるため、平成26年度も例年同様実施した。

ニーズの把握については、例年バスの利用者に対し行ってきたが、利用者がほぼ固定していることにより対象者が毎年ほぼ同じになっていることから、平成25年度は新たな視点で乗務員に対するアンケート調査を実施した。平成26年度は例年にならいバスの利用者に行い、今後は乗務員へのアンケート調査と各年で実施する方向で検討している。

本年度の結果は取りまとめ中のため、調査実施の概要を報告する。

項目	内容
調査対象路線	各路線バス等利用者乗降調査及びインタビュー調査 ①大倉線 ②神里線 ③上の台線 ④旭中央病院線 ⑤成田空港線 ⑥府馬線 ⑦与田浦線 ⑧栗源線 ⑨佐原循環バス（北佐原・新島ルート） ⑩佐原循環バス（大戸・瑞穂ルート） ⑪佐原循環バス（周遊ルート） ⑫小見川循環バス（東南ルート） ⑬小見川循環バス（西ルート） ⑭山田循環バス ⑮栗源循環バス
実施方法	(1) 各路線バス等利用者乗降調査 ①調査対象 ・各路線の停留所で乗降する全ての者 ②調査方法 千葉交通株、関鉄観光バス株、ジェイアールバス関東株、社会福祉協議会に調査期間中、路線バス等利用者乗降調査（うち学生の人数含む）について協力依頼する。 ③調査期間 平成26年5月19日（月）～5月25日（日）  (2) 路線バス等利用者インタビュー調査 調査期間のうち、1日は職員が同乗し、路線バス等利用者インタビュー調査を行った。

### 2) 平成25年度乗降調査及び乗務員アンケート調査

〔施策2〕 市内交通サービスの格差是正 〔事業〕(1) ニーズ調査及び現況把握

調査結果については、別紙「調査結果報告書」のとおり。

